

要求工学について

Group-I7

2008MI252 津川 夏海

2008MI261 和田 百世

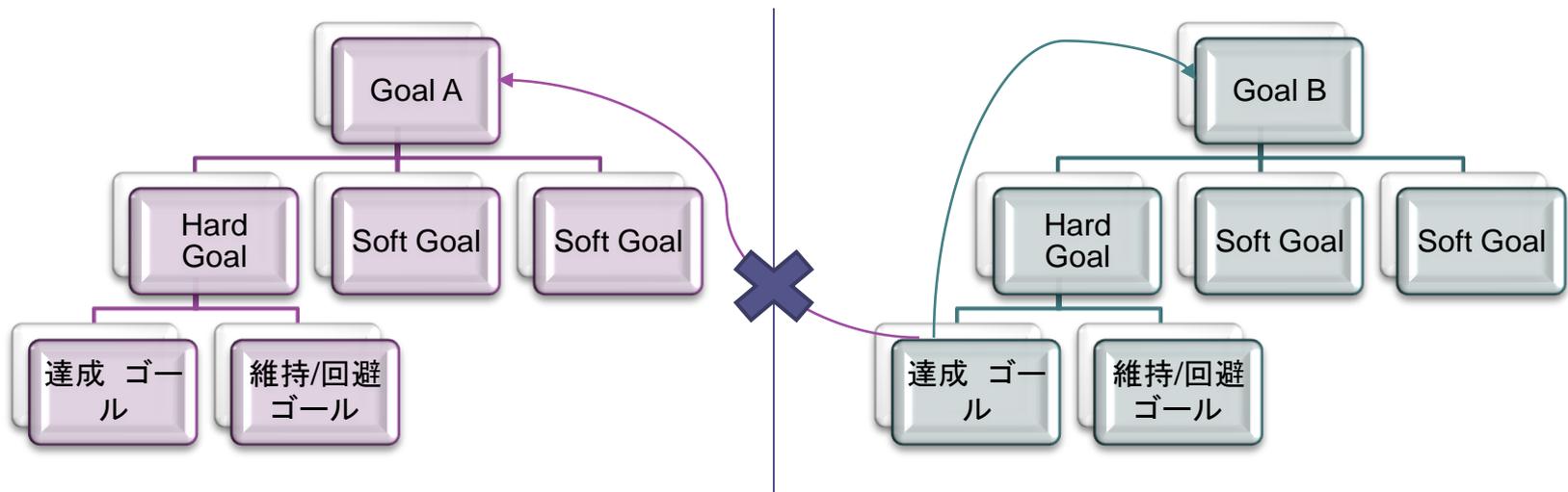
目次

- 前回の質問に対する答え(4)
- e-ビジネスシステムについて(2)
- e-ビジネスシステムの問題点
- ビジネス戦略の定義
- ジャクソン問題図について
- ジャクソン問題図の例
- ジャクソン問題図とゴールモデルの統合
- 今後の課題
- 参考文献

前回の質問に対する答え(1/4)

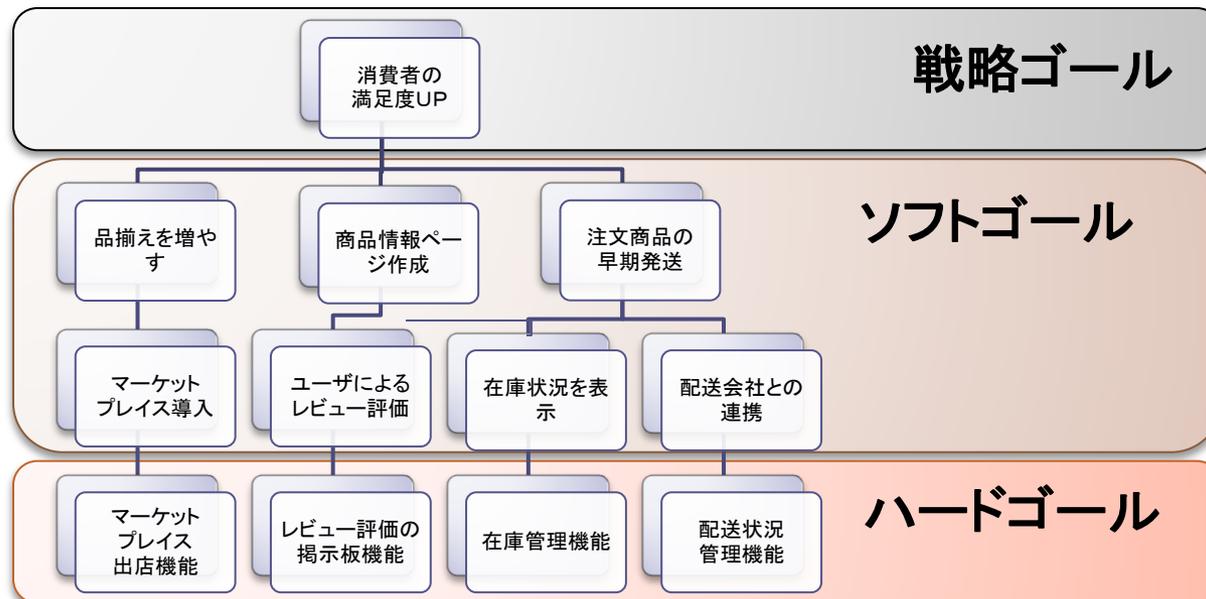
Q ゴール指向分析の短所の3つ目「ゴール達成に特化した要求しか導けない」はなぜ短所になるのか。

A



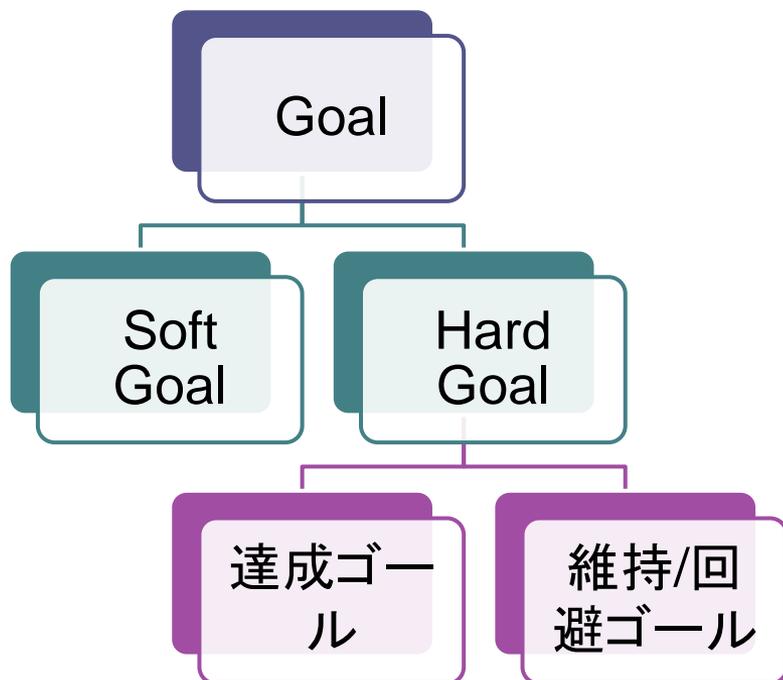
前回の質問に対する答え(2/4)

Q 下図の各ゴールについて、機能ゴールと非機能ゴールの分類はどうなっているのか。



前回の質問に対する答え(3/4)

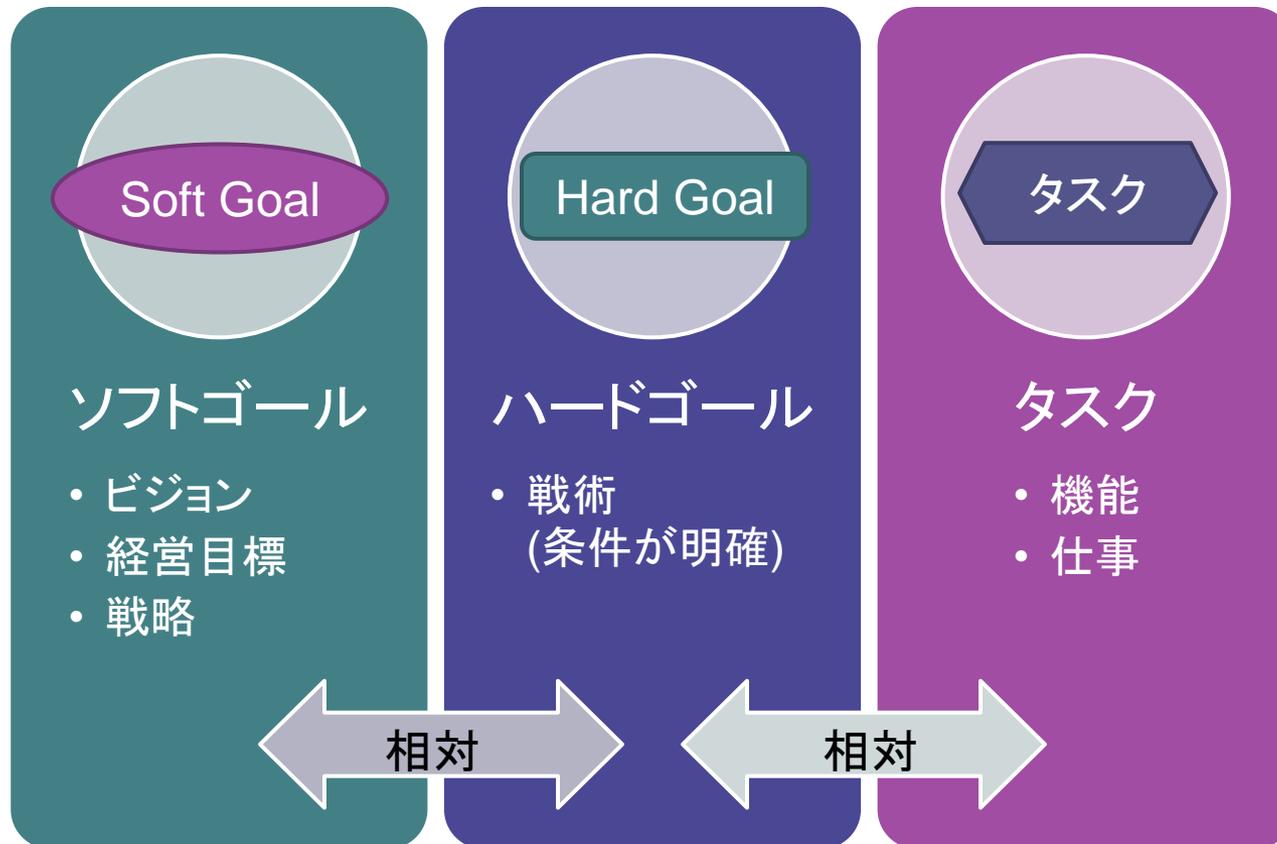
	ソフトゴール	ハードゴール
機能ゴール	抽象的な機能	具体的な機能
非機能ゴール	定性的な属性	定量的な属性



- ソフトゴール(Soft Goal)[戦略ゴール]
 - システムが持つべき定性的な特性
 - 戦略的目標
- ハードゴール(Hard Goal)
 - ある状態に到達すること
 - 到達の可否や達成の定量的評価可能
 - ハードゴールの分類
 - 達成ゴール
 - 維持/回避ゴール

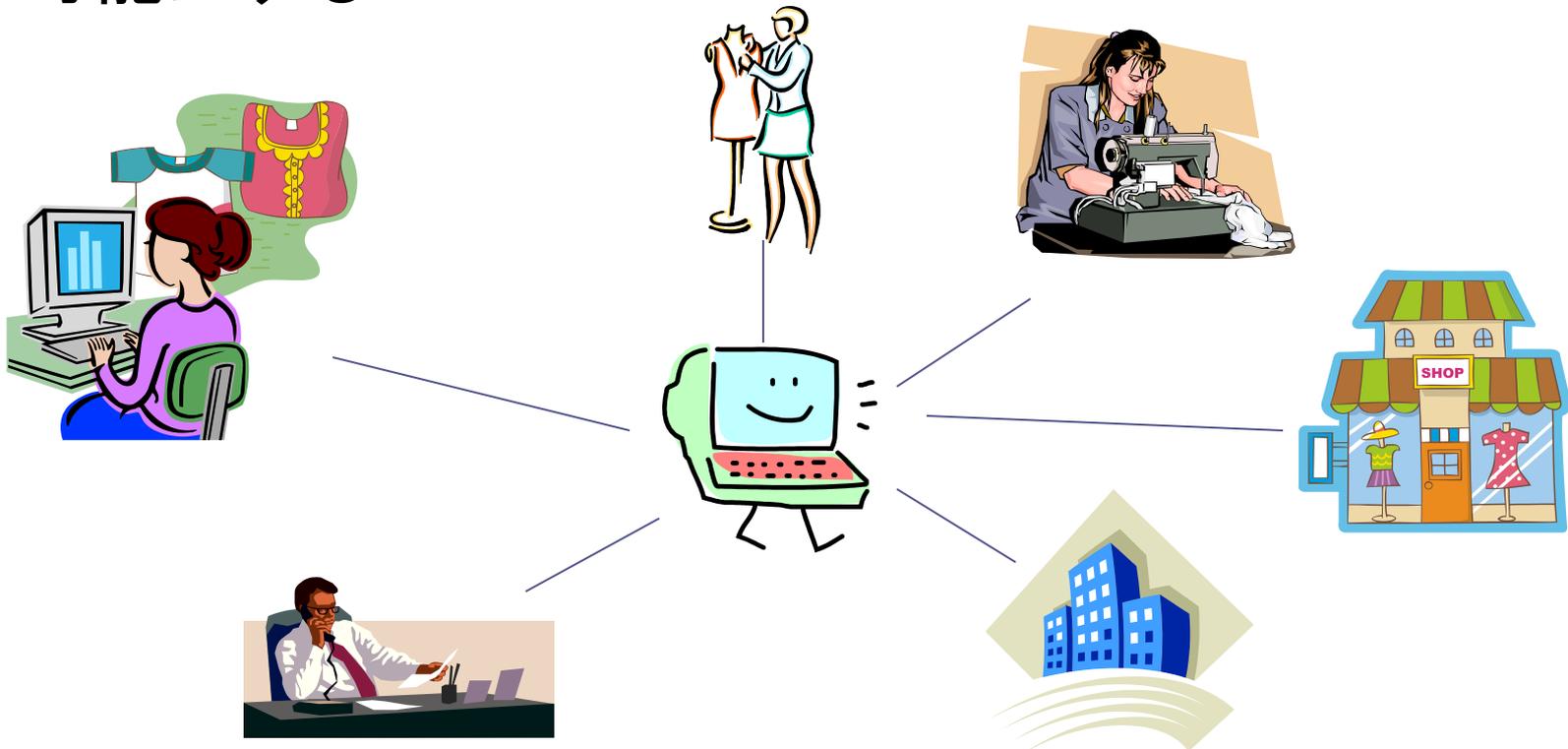
前回の質問に対する答え(4/4)

A

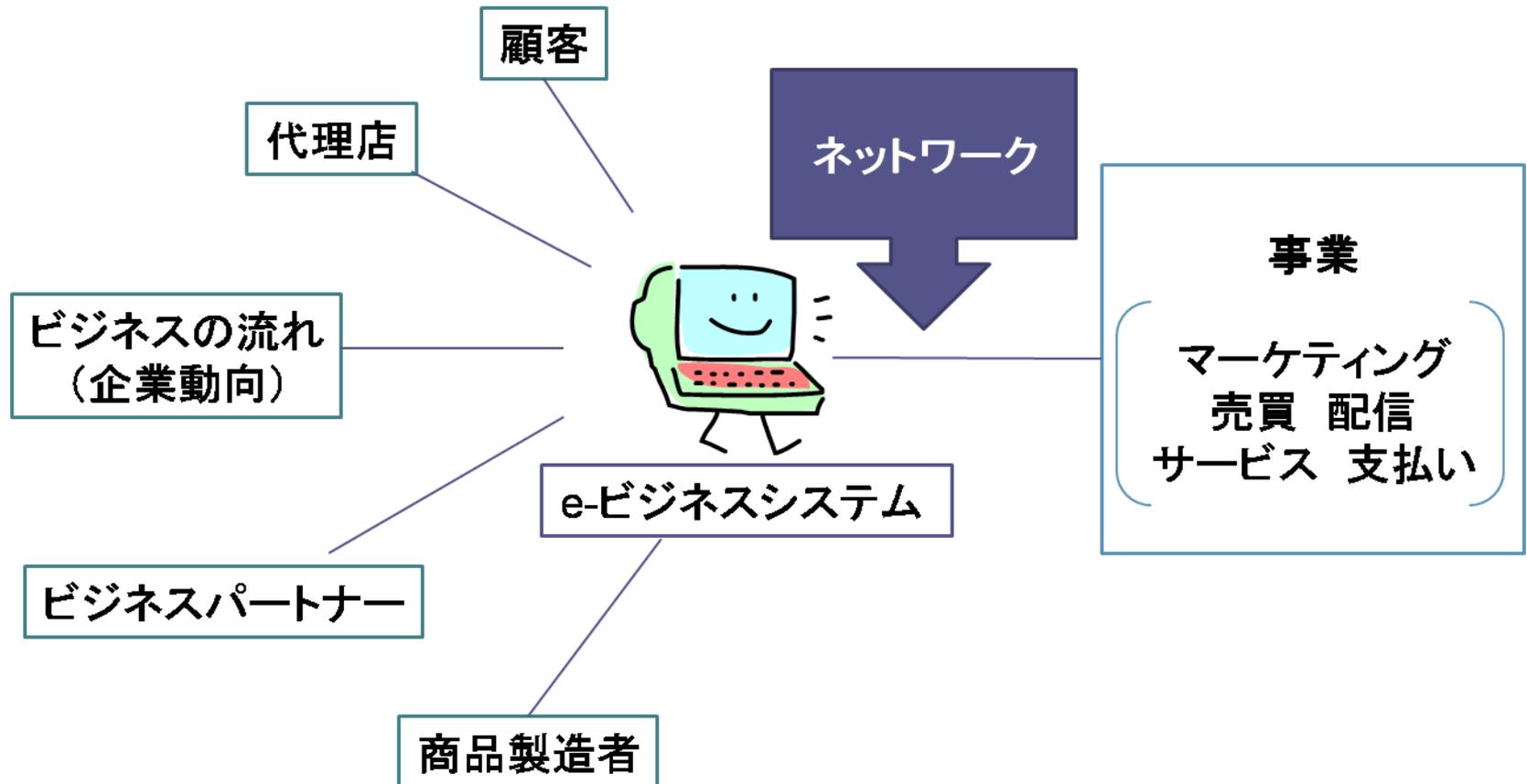


e-ビジネスシステムについて(1/2)

- **製品・サービス・情報**に対して、
マーケティング・売買・配信・サービス・支払いを
可能にする



e-ビジネスシステムについて(2/2)



問題点

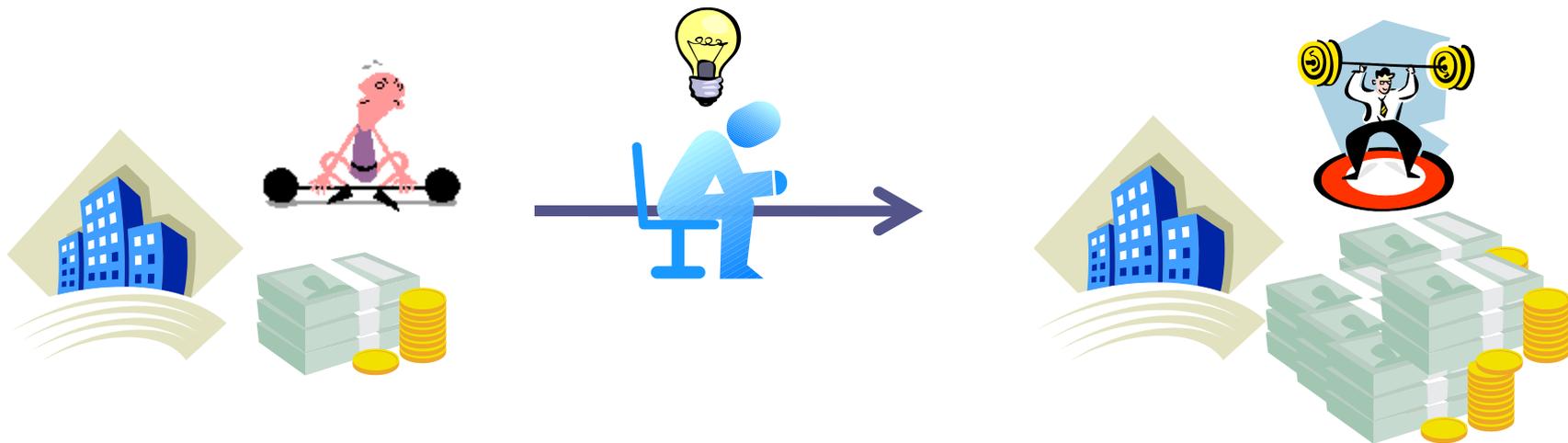
- 現在の要求工学では、eビジネスシステムの要求を分析できない
- そのため、ゴールモデルとジャクソン問題図とビジネスプロセスモデルの3つを統合したもので、アプローチする提案



ビジネス戦略の定義

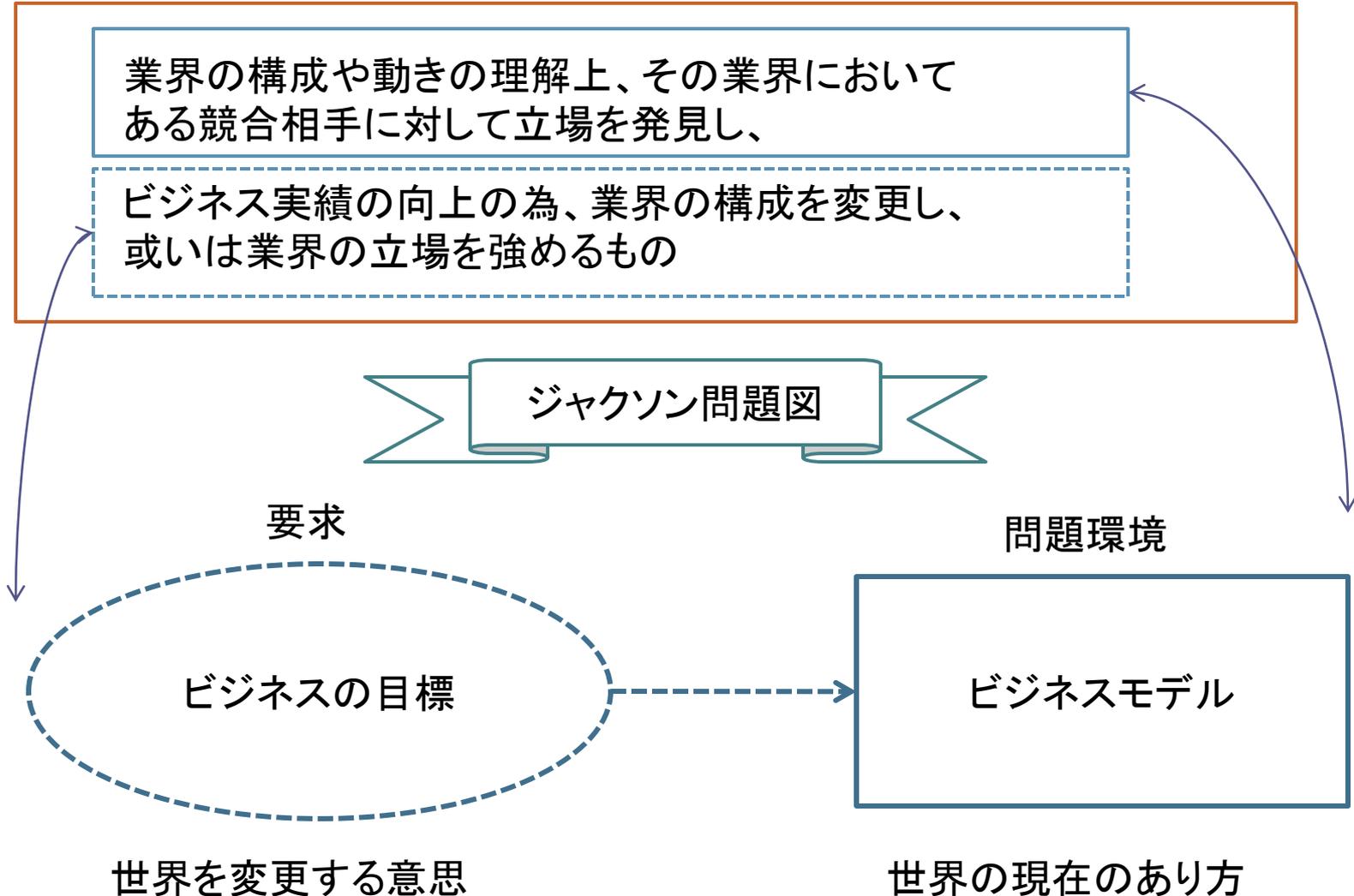
業界の構成や動きの理解上、その業界においてある競合相手に対して立場を発見し、ビジネス実績の向上の為、業界の構成を変更し、或いは業界の立場を強めるもの

- 問題図のジャクソンの考え方に対応している



ジャクソン問題図について

ビジネス戦略の定義

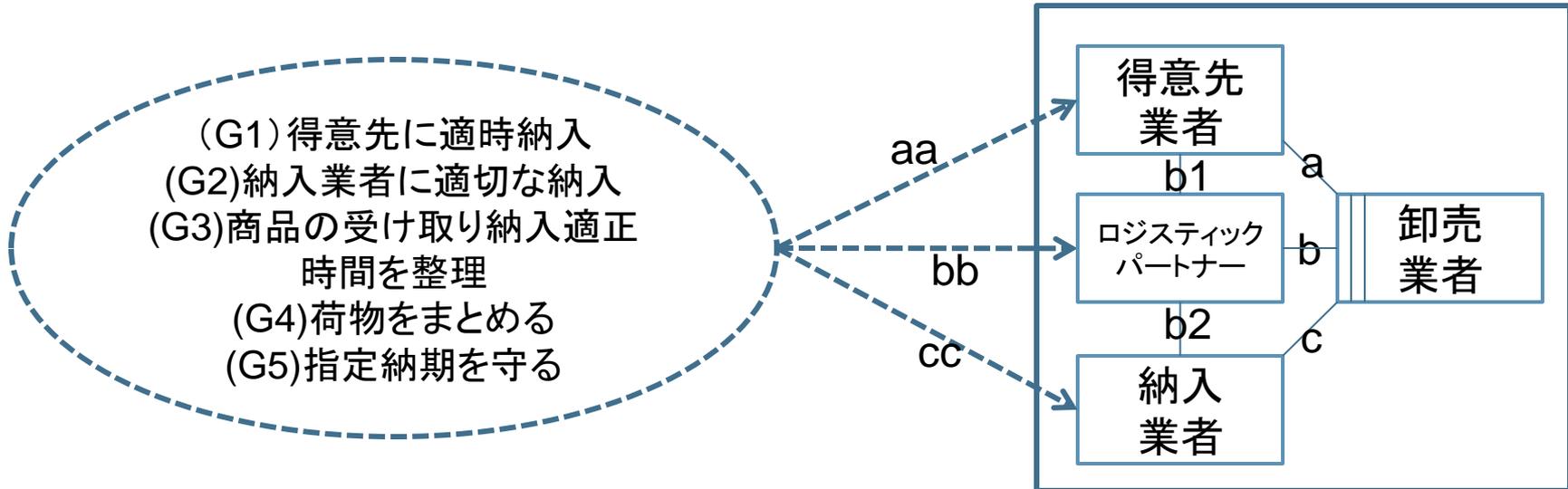


ジャクソン問題図の例

ビジネス経営策

- (G1) 得意先に適時納入
 (G2) 納入業者に適切な納入
 (G3) 商品の受け取り納入適正時間を整理
 (G4) 荷物をまとめる
 (G5) 指定納期を守る

ビジネス環境



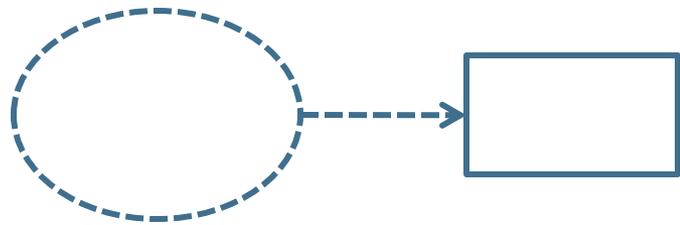
相互現象

- a: 卸売業者！{受注；入金}
 b: 卸売業者！{運送依頼；支払い}
 ロジスティックス！{納入確認}
 b1: ロジスティックス！{納入}
 b2: ロジスティックス！{商品受け取り}
 c: 卸売業者！{発注；支払い}
 納入業者！{注文受領の確認}

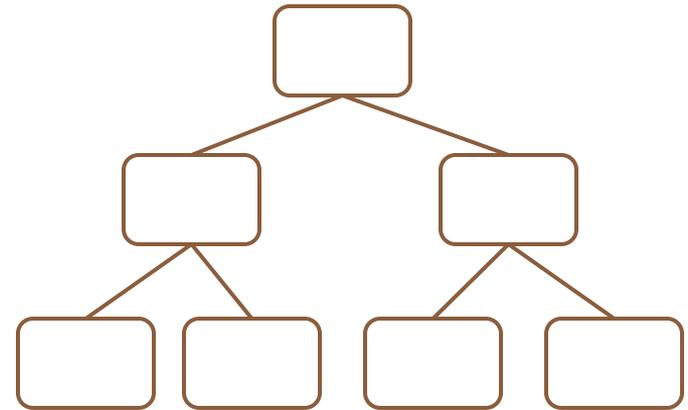
要求項目

- aa: 卸売業者！{G1}
 bb: 卸売業者！{G3}
 ロジスティックス！{G4}
 cc: 卸売業者！{G2}
 納入業者！{G5}

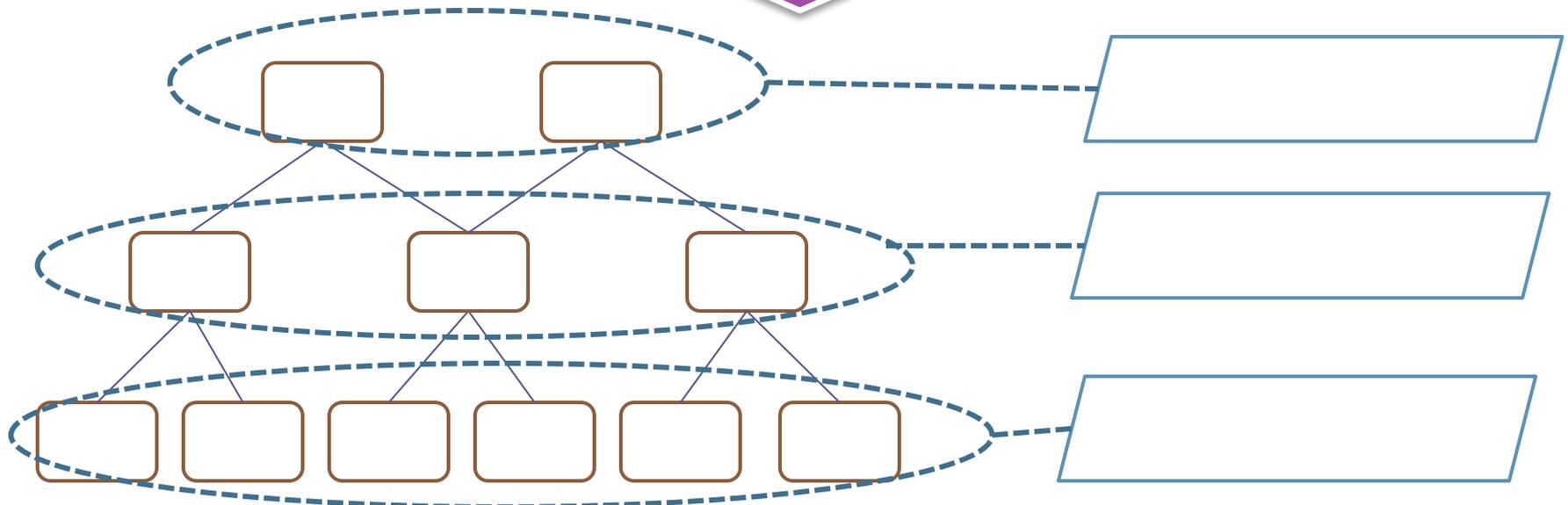
ジャクソン問題図とゴールモデルの統合



ジャクソン問題図



ゴールモデル



今後の課題

- 今回の発表の続きを進める
- テーマの模索

参考文献

- Requirements Engineering for e-Business Systems: Integrating Jackson Problems Diagrams with Goal Modeling and BPM